

第3回 徳島県いじめ問題等対策審議会 議事録

日 時 令和5年1月16日(月)午後2時から4時まで

場 所 10階 特別大会議室

出席者 14名

会議概要

1 開会

(1) 教育委員会あいさつ

(2) 会長あいさつ

2 議事

(1) 徳島県いじめ問題等対策検討部会からの報告

(2) 「文部科学省 令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果について

(3) 「とくしま いじめ問題子どもサミット2022」についての報告

3 閉会

会長あいさつ

いじめをきっかけに不登校になっているという相談が増加している。人とつながることが難しい状況で、マスクをつけた状態が続き、学校も感染症に対応しながら、様々な行事を再開している。私たちもいじめや不登校がなくなり、子どもたちが幸せに学校に登校できるよう議論したい。

事務局 会長に進行をお願いする。

会 長 事務局に「第3回いじめ問題等対策検討部会」からの報告をお願いする。

事務局 昨年12月2日に第3回いじめ問題等対策検討部会を開催した。検討部会では「つながり リレー動画」の12月からの配信について、新たに応募された17作品を部会長と2名の委員が視聴し、御意見を頂いた。なお、公務のため出席できなかった委員の方には、事前に視聴いただき、御意見等を伺い、検討部会で報告した。また、「大人からのメッセージ」に出演される委員の方々の案について提案し、御了承を得た。

会 長 部会長から意見を頂く。

部会長 「つながり リレー動画」について、すべての校種から積極的に参加を頂いた。仕上がりもよく、学校、部活動、グループを紹介し、その

中で地域の方との交流や、高校生が小学生と交流したいという意見も出た。これは「つながり リレー動画」の成果であると思っている。

学校種別を越え児童生徒が交流することや、映像で客観的に見られたり、自分でしゃべる言葉が映像で体感できたのも良かった。改善点も踏まえ、次年度も継続できたらと思う。

会 長 「つながり リレー動画」について検証していきたい。事務局に説明をお願いします。

事務局 これまでに配信された「つながり リレー動画」をダイジェスト版で上映する。

(配信動画上映)

事務局 資料を用いて、今年度の取組み「つながり リレー動画を実施してみよう」を説明する。

応募学校数は36校、43作品。「つながり リレー動画」に応募した学校の児童生徒、教職員からの感想と参加について記載している。いくつか紹介する。

○グループで話し合いをして台詞や動作を考えることにより、グループの仲間意識が深まった。

○児童生徒の様子や学んだこと、地域の良さを発信する機会になった。

○自分たちの学校の良さを再確認し、誇りをもつことができた。

○友達の大切さについて考えるきっかけになった。

○生徒たちが主体的に活動する良い機会となった。

○改めて「人と人がつながる大切さ」を実感することができた。

などの御意見を頂いた。また、改善点については、「『つながり リレー動画』のPRを工夫してはどうか」、「作成する上で時間が少し足りなかった」などの意見を頂いた。他にも、動画の提出方法について、CD-R形式が手間なので、メールやクラウドを活用できればありがたいという意見もあった。

会 長 「つながり リレー動画」について、各委員から御意見、御感想を頂く。

委 員 「つながり リレー動画」に参加した。あいさつ運動について発信し、保護者等から「視聴した」と声をかけていただいた。それが子どもたちの励みになり、これまで以上に、「あいさつを頑張っていきたい」、「人とのつながりを大切にしたい」という気持ちにつながったと思う。この取組を継続してほしい。

- 会 長 配信したことで相乗効果があった。
- 委 員 動画を視聴して温かい気持ちになれた。次年度は早めに募集し、地域の方と一緒に制作してはどうか。
- 委 員 コロナ禍で大学生もつながりが希薄化している。今回の取組みに大学生も参加してはどうか。
- 会 長 大学のPRにもなる。
- 委 員 同じ目的に向かい、しっかり練習して撮影に臨んでいたと思う。この取組が、いじめ問題の解消につながれば良いと思う。今後も継続してほしい。
- 会 長 自分たちの取組を発信することで、自信がついたり、自尊感情も高まったと思う。
- 委 員 「つながり リレー動画」に参加した。制作を通して生徒たちとつながることができた。友達同士でもできる取組だ。PRの方法や配信動画を検索しやすく工夫するとさらに良い。
- 委 員 クオリティが高いと感じた。先生方にも御協力いただいたと思う。この動画を見た子どもたちが、温かい気持ちになることで学校に期待する思いが高まる。いじめに関しては、多くの子どもたちがそういう気持ちになることで、未然防止につながり、この取組が意義のあるものになる。今後も負担なく継続できることを期待する。
- 会 長 先生の負担が少なく制作できれば良いと思う。
- 委 員 各学校が地域や様々な取組を発信し、学校で話題になることでつながっていければ良いと思う。表に出ることが得意でなくても、動画編集が得意な子どもがいる。得意な子どもたちが編集に携わり、前に出ることができれば良いと期待する。
- 会 長 地域を紹介している動画も楽しそう。
- 委 員 自分の学校のPRや地域の方との関わりをもってつながっていることが印象的。地域の方とふれあうことが減少している中で、この取組があればつながっていける。これからも続けてほしい。

- 会 長 地域の人とのつながりは大切だ。
- 委 員 来年度この取組継続していただければ、長期休業期間で制作することが可能。他校の取組を見て素晴らしいと思った。来年度も続けてほしい。
- 会 長 長期休業期間を活用すれば制作もはかどる。
- 委 員 動画やアンケート結果から、いじめ問題を解消するためには、保護者や学校等が価値観を共有しなければいけないと感じた。価値観が共有できているからこそ動画も制作できる。「つながり リレー動画」の成果がアンケートの結果にも反映されていると感じる。
制作した動画を学年から学校全体、そして保護者にも周知し、いじめ問題の認識を共有できれば良いと感じた。次年度は早めに準備ができるように募集すれば、今回とは違った視点で制作できると思う。
- 会 長 いじめ防止に対する価値観を共有し広めてほしい。子ども同士で助け合ったり楽しんだりしている様子は保護者にとっても嬉しいと思う。
- 委 員 子どもたちのいきいきとした姿を見ることができ、温かい気持ちになれた。ポジティブな気持ちになれたのは、自分だけでなく、みんな同じと思う。多くの人が見るので、人によって様々な感じ方があり、地域の人が自分の町内の学校の動画を見て、子どもたちとつながるきっかけになれば良い。また、温かい気持ちで登下校する子どもたちを見守ることで防犯にもつながる。
- 会 長 制作することや見ることで温かい気持ちになる。見ることによってつながる。
- 委 員 つながりには、二つの方向性があると思う。学校の中でのつながりと、学校間のつながり。「ある学校から、ある学校へどうぞ」というつながり方があっても良いと思う。また、多くの人が見ることができるように工夫してほしい。
- 会 長 次の学校を指名してからつなぐ方法もある。
- 委 員 単発ではなくつながっていく方法もある。

会 長 各委員から「つながり リレー動画」を次年度も継続してほしいという意見が多かった。改善点も踏まえ、しっかりPRし、多くの人の心がつながってほしいと思う。

会 長 「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果の徳島県の概要について、事務局に説明をお願いします。

事務局 暴力行為の件数は小・中・高等学校あわせて470件、前年度と比較して18件増加している。

校種別では、小学校が最も多く308件、次いで中学校134件、高等学校28件となっている。中学校・高等学校は近年減少傾向であったが、中学校については小学校とともに増加している。

いじめの認知件数は小・中・高・特別支援学校合わせて2,593件で、前年度より247件増加している。

令和3年度はコロナの影響が続く中、部活動や学校行事などの様々な活動が徐々に再開されたことにより、接触機会が増加するとともに、いじめ防止対策推進法における「いじめの定義」や「いじめの積極的な認知」に対する理解が広がったことなどが増加の要因として考えられる。

いじめ発見のきっかけとして、「アンケート調査など学校の取組により発見した」が際立って多く、各学校でアンケート調査が積極的に活用され、いじめ発見のための有効な手段となっていることがわかる。

なお、「いじめの態様」については、全国的に全校種で「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が最も多く次いで小学校・中学校・特別支援学校では、「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする」、高等学校では「パソコンやスマートフォン等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる」が多くなっている。

小学校・中学校における不登校について、小学校・中学校の不登校児童数は1,327人、小学校・中学校ともに増加している。

コロナ禍での生活環境の変化により、生活リズムが乱れやすい状況や、学校生活において様々な制限がある中で交友関係が築きにくいこと等、登校する意欲が湧きにくい状況にあったことが背景として考えられる。また、児童生徒が無理に通学しなくてよいと、休養の必要性を明示した「教育機会確保法」の趣旨の浸透や、スマートフォン等のデジタル機器の普及も影響していると考えられる。

加えて中学校では、入学後の環境の変化への不適應「中1ギャップ」や、それまでの頑張りの息切れ、人間関係や学業の挫折が思春期で大きく影響すること等も挙げられる。

不登校の要因の主たるものの全国結果については、「無気力・不安」が多く、次いで「生活リズムの乱れ・あそび・非行」、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」、「親子の関わり方」の順となっている。

高等学校の不登校生徒数は147人で、ここ数年増減を繰り返しながら横ばい状態が続いている。中途退学者数は減少している。

調査結果から、新型コロナによる生活や環境の変化が、子どもたちの行動等に大きな影響を与えていることがうかがえる。子どもたちの不安や悩みをしっかりと受け止め、組織的対応を行うことが重要だと考えている。

会 長 前年度よりも、いじめや不登校等が増加している。軽く叩いたり、からかうことが、周囲はいじめでないと感じていても、受けている本人は嫌な場合が多々ある。ひやかしやからかいも、いじめであると認識することが大事だ。中学校の不登校の増加は今後の課題として考える必要がある。

次に、「いじめ問題こどもサミット2022」について事務局に説明をお願いする。

事務局 昨年12月26日にオンラインで開催した。いじめ防止子ども委員会の子どもたちが意見交換する取組として昨年度から始めた。県内から18校、97名の児童生徒が参加した。昨年度より多くの生徒が参加し、各校の取組発表、グループ協議の他、自分たちの思いを込めた動画等も制作した。今回は、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高める取組が多く見られ、いじめを生まない取組も見られた。また、「コロナ禍で変わったこと、変わらなかったこと」について意見交換した。サミットの様子を動画で上映する。

(サミット動画上映)

今後、動画を制作し広く配信したいと考えている。1月21日に全国いじめ問題子供サミットが開催され、徳島県から千松小学校が参加する。この活動を「つながり リレー動画」と合わせて発信していきたいと考えている。今後も小学生と中学生が交流する機会を設け、サミットを継続していきたいと考えている。

会 長 事務局に質問等はあるか。

委 員 昨年度から参加しているが、今年度はさらに充実したと感じている。参加した子どもたちが、「いじめをなくそう」という思いになる、良い

機会となった。

会 長 他に質問等はないか。

委 員 「つながり リレー動画」を学校単位の参加ではなく、複数の学校が一つの動画で参加すれば、さらにつながりが深まるのではないか。

会 長 複数の学校がZoom等で参加することは可能かもしれない。

委 員 いじめの問題等、一つ一つの対処も大事だが、各委員の意見を聞き、「つながり リレー動画」を一つのツールとして考えることもできる。コロナ禍以前は、遠隔ツールの活用はあまり使用されなかったが、学校等の公的機関が積極的に活用することで広がりができ、発展的に様々なつながりが生まれる。高校生はスマートフォンで撮影すれば動画の編集がよりスムーズになるので活用してはどうか。

会 長 コロナ禍以前は、Zoom等は積極的に活用されなかった。授業もオンラインで受けることができれば良いと思う。

委 員 中学生の不登校の増加は実感している。高校生の不登校が横ばいで、中途退学者が減少していることは、スクールカウンセラーが関わっていることが関係しているのであれば嬉しい。

「つながり リレー動画」等の企画を、児童生徒が計画してはどうか。それについて教育委員会がアドバイスする方法もある。

会 長 学校と学校、小学校と中学校の連携もある。
中途退学者等の減少の要因は何か。

事務局 近年の減少は、各学校の丁寧な取組によるものと聞いている。子どもたちには多様な学びが必要であり、スクールカウンセラー等の協力もいただきながら、多様な対応ができれば良いと考えている。

会 長 多様な学びの場を充実させることが大事だ。

委 員 動画やサミットを制作、参加して終わりではなく、広めることで相乗効果を発揮することができる。不登校について、オンラインでの出席を認めてほしいという意見がある。私もそう思う。不登校の増加につながるかもしれないが、柔軟な対応が必要と感じる。

委員 オンラインは有効と考えている。教育支援センターの充実も重要だ。具体的には職員や施設の増加。しかし、人が少ないのが現状である。子どもたちの問題に私たちがどのように対応すべきか、対応力が求められている。これという有効な手段はないが、様々な対応が必要だ。

会長 教育支援センターは近年充実していると聞いている。子どもたちの問題に根本的に対応することが大事だ。

各委員の御意見等を参考に事務局で今後の取組を進めていただく。

